



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 佐渡市両津総合体育館
 試合区分： 成年男子 決勝
 開催期日： 2009年10月5日(月)
 開始時間： 10:00

主審： 相原 伸康
 副審： 藤垣 庸二

GAME No. 1005A1

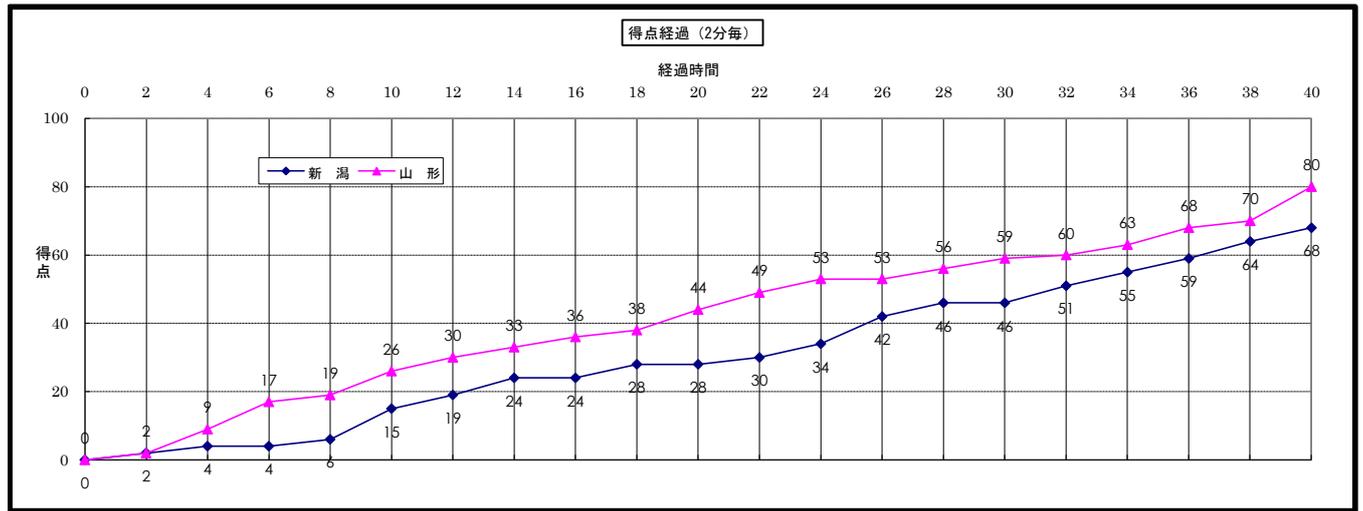
Team A 新潟	● 68	15 -1st- 26 13 -2nd- 18 18 -3rd- 15 22 -4th- 21	○ 80	Team B 山形
---------------------	-------------	--	-------------	---------------------

TEAM A		新潟					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	岩崎 一英	2	0	1	0	2
5	*	北 健太郎	7	0	2	3	2
6		須貝 智	6	1	1	1	4
7		高木 和幸	7	1	2	0	3
8	*	堀 里也	13	1	5	0	2
9	*	藤田 浩二	4	0	2	0	1
10		齋藤 康高	4	0	1	2	1
11		中川 一理	1	0	0	1	2
12		平岡 富士貴	3	1	0	0	3
13	*	加藤 慶大	0	0	0	0	0
14		岩下 大志	19	1	4	8	2
15		塚 紀人	2	0	1	0	3
Coach		浦上 幸二郎					0
TOTAL			68	5	19	15	25

TEAM B		山形					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	笹原 慎也	1	0	0	1	1
5	*	伊藤 和哉	6	0	3	0	5
6	*	橋本 伸広	26	1	11	1	4
7		小野 学	3	0	1	1	5
8	*	中村 裕紀	23	2	5	7	1
9		斎藤 剛	1	0	0	1	1
10	*	阿部 一貴	13	3	1	2	1
11		関野 尚也	7	0	2	3	2
12		五十嵐 裕也	-	-	-	-	-
13		荒木 直人	-	-	-	-	-
14		古瀬 矩嵩	-	-	-	-	-
15		太田 真司	-	-	-	-	-
Coach		小野 賢一郎					0
TOTAL			80	6	23	16	20

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	4:42	18:13	33:37	38:29	39:33		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q			OT1	OT2
	-	-	25:38	-	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

成年男子決勝は、地元の声援を背に初優勝をめざす新潟と、17年ぶりの優勝を狙う山形の隣県対決となった。

1Q、ともにディフェンスはマンツーマン。立ち上がり両チームとも硬さが見られる。山形が#8中村のジャンプシュートで先制。すかさず新潟も#8堀のアウトシュートで同点とする。しかし、その後新潟は放つシュートがごとごとく外れ、4-5となった開始3分後から残り5分まで、4分間得点なし。対する山形は#5伊藤、#6橋本がゴール下で確実にシュートを決め、得点を重ねる。15-26で1Q終了。

2Q、序盤は交互に点を取り合う展開。差を詰めたい新潟は、途中からオールコートのプレスディフェンスを仕掛ける。ターンオーバーからのシュートも決まり、流れが新潟に傾きかけたかに見えた。しかし、ここで山形が絶妙のタイミングでタイムアウト。その後、山形は、#8中村の連続ゴールなどで得点し、28-44で前半終了。

3Q、山形は#5伊藤のインサイドシュート、#8中村の3Pシュートで加点し、一時点差を19点まで広げる。新潟は、#6須貝、#7高木の3Pシュートで追い上げ、クォーター後半、ディフェンスを3-2ゾーンに変え、10点差まで詰め寄せた。しかし、残り1分から、山形にフリースローを3本決められ、46-59の13点差で最終クォーターへ。

4Q、満場の大声援に後押しされて、新潟が猛反撃を開始。厳しいディフェンスでプレッシャーをかけ、必死に追い上げる。残り5分には4点差まで詰め寄り、場内騒然となる。しかし、山形は2人の退場者を出しながらも、#6橋本、#8中村が冷静にゴールを決め、新潟の追い上げを許さない。終盤ファールゲームをしかけた新潟のファールで得たフリースローも確実に沈めて、68-80でゲームセット。

終始リードを保った山形が地元新潟を下し、4回目の優勝を飾る。

記載責任者	庄山 忠彦 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	------------	---------------